



平成19年秋季例大祭 サイ上り神事

産土



彦島八幡宮社報
第34号

献菊 — 菊について —

日本においては三五〇種ほどの野菊が自生しているそうです。古代においてはヨモギのように食用とされ、鑑賞の習慣は平安時代頃、中国から秋の重陽の節句とともにもたらされました。現在、春の花は桜、秋を象徴する花は菊となっていますが、これが定着してきたのは、鎌倉時代の初めに後鳥羽上皇が菊の花を好み、天皇家の家紋を「菊紋」とされた頃からと言われています。

天皇家、御皇室にゆかりの菊は非常に尊い秋の花として、神社、寺院にも奉納されるようになり、現在では全国津々浦々「菊花展」などが催されています。

○重陽の節句 (旧暦九月九日、菊の節句とも呼ばれる。)

○菊花紋章 (十六弁八重表菊紋、十六枚の花弁を象った天皇家の紋章)

○菊の花言葉は「高貴」



老三町 長崎興幹氏 献納の菊

社務日誌抄

平成十九年七月〜十二月

七月二十九日
▼夏越祭前夜祭



三十日
▼同本殿祭、
御神幸祭



八月五日
▼まほろば学級開催
彦島地区の小学生を対象に一日緑陰学級を開催



九月二十三日

▼第三十三回祖霊祭
宗旨が神道の家の合同の先祖慰霊祭

十月十七日

▼神宮神嘗祭当日祭
伊勢神宮にて新穀をお供えする神事に併せて行う祭事

二十日

▼秋季例大祭前夜祭



十月三十一日

▼秋季例大祭本殿祭
御神幸祭

▼本殿際



▼奉納剣道大会参拝



▼サイ上り神事説明



▼御神幸祭



十一月三日
▼明治祭

十一月二十三日

▼新嘗祭
新穀を神に供える感謝祭

十二月二日
▼大注連縄おろし

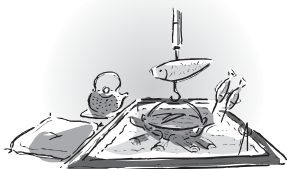


二十三日

▼天長祭

三十一日

▼大祓式、除夜祭



まほろば学級 寄稿感想文



去る平成十九年八月五日、当宮にて開催の「まほろば学級」(緑陰学級)参加の児童十八名より寄せられた感想文の中より三通ほど掲載をさせていただきます。

彦島八幡宮でまほろば学級がありました。わたしは、まだ小さいのでおばあちゃんと一緒に行きました。

最初は、手洗いの仕方を教えてもらいました。今度お宮に行った時は、一番にやろうと思います。

今日一日みんなの安全を祈ってお祓いをしてもらいました。お宮の周りを歩いて、説明もありました。もうすぐ八五〇年になるそうです。もつと古い印の付いた石もありました。

それからゲームをしました。楽しかったです。

お昼はカレーライスを食べました。作ってくれたおばちゃん、ありがとう。おいしかったよ。

あんどん作りは、最初に絵を描きました。絵を描くのは楽しかったです。周りのお姉ちゃんたちと仲良くやりました。

それから組立てをしました。ホッチキスで留める時、力いっぱい押ししました。紙を貼るのは簡単でした。教えてくれたおじちゃん、お兄ちゃんありがとう。夕食はバーベキュー。お肉やウインナー、カボチャ、おいしかったよ。熱いのにならずと焼いてくれたおじちゃん、おばちゃんありがとう。

少し暗くなつてから、花火をしました。みんな仲良くやりました。打上花火は大人の人にやってもらいました。綺麗だったよ。一番楽しかったです。

最後にあんどんのロウソクに火を点けて、あんどん行列をしました。ロウソクが倒れないように気をつけて歩きました。

その後「修了証」をもらいました。最後まで頑張れて良かったです。楽しい思い出が出来ました。

大谷 優香さん



あんどん作り

ぼくは、まほろば学級に出て、本日に楽しい一日が出来ました。友達がいっぱい出来ました。まず、一番最初に楽しかったことはゲームです。ギョウチヨウモウスカとチャリーのゲームは楽しかったです。二番目は昼食でした。

昼ご飯に食べたカレーおいしかったです。三番目はあんどん作りです。第一回の時のあんどんは、面白かったけど、第二回はまじめに作りました。ちよつとだけ難しい所もあったけど、結構楽しかったです。四番目は夕食です。バーベキューを食べました。おいしかったです。バーベキューを食べ終わつたら友達と一緒にセミ取りや缶蹴りや団扇投げ等をして遊びました。後、花火をしました。打上花火等をして遊びました。飛行機花火は、わからないけど、何かに火を点けました。そしたら、いきなり上に上がって行きました。そして、最後の花火に火を点けました。

ドーンと花火が上がりました。五番目に、あんどん行列をしました。ぼくと友達が先頭になって二人ずつ歩いて、八幡宮の中に入って修了証をもらいました。八幡宮の皆さん、どうもありがとうございました。

安本 虎史さん



ぼくが、まほろば学級に参加したのは二回目です。何故二回参加したかと言うと、楽しかったから参加しました。まず神社の周りを案内してもらいました。ぼくは、すごく広いからちよつと迷いました。

次はカレーを食べました。ぼくたちは、男子が五人しかいませんでした。カレーを食べている時は、喋りながら食べました。あんまり喋り過ぎたから女子にちよつと睨み付けられました。だから喋り過ぎと思われました。カレーは一回目に食べたカレーより全然辛くなかったです。

次にあんどんを作りました。作り方は、去年作つたのでスムーズに作れました。それからバーベキューを食べて、あんどんのロウソクに火を点けたら、とっても綺麗でした。来年はお菓子があつたら良いのになあ!

杉本 鉄平さん



修了証授与式

節分祭齋行

平成二十年二月三日（日）

◎第一回目豆まき開始時刻が変更になります。ご注意ください。

行事、その他催しについてはポスター等をご参照下さい。

□神事／午後五時三十分

□豆まき／

●第一回 午後五時〇〇分

●第二回 午後六時〇〇分

●第三回 午後七時三〇分

※三回目の豆まきは、年男女・厄年・年祝いに当たられるご参拝の皆様方にも豆まきをしていただけます。

※節分祭当日、午後五時～六時三〇分の間に社務所受付（神門をくぐって左手）にてお申込下さい。〈初穂料二千円〉

▽一年の無事と皆様方の厄除け開運を願い、平成二十年の節分祭を執行致します。ご家族お揃いにてご参拝下さい。

尚、境内は参拝者の安全確保のため、一般車輛は進入禁止となっております。ご迷惑をお掛け致しますが、公共交通機関、又は臨時駐車場をご利用下さいますようお願い申し上げます。



行事協賛社芳名

平成十九年度 秋季例大祭

十月二十日～二十一日齋行

▼(有)彦島豆富

▼(有)マルイチ彦島醸造工場

▼(有)アルマ

▼末次ふとん店

▼三菱重工業(株)下関造船所

▼(有)ステンレス工芸

▼協立運輸商事(株)

▼(株)エム・シー・エス

▼日新リフラテック(株)

▼(有)エポック

▼(株)ユキテクノ

▼(株)石原建設

▼(株)植田商会

▼(有)アプリバー

▼西中国信用金庫西山支店

▼関門海峡フェリー(株)

▼ズードケミー触媒(株)下関工場

▼大日商事(株)

▼日本サイテック

▼インダストリーズ(株)下関工場

▼彦島製錬(株)

(※順不同)

他 三十八社

協賛広告にてご披露と御礼に代えさせていただきます。ありがとうございました。

平成20年 厄年・年祝表

(年祝)

年祝いは、長き年月神様から生かされて過ごす事が出来た事への感謝の気持ちを込めて行うお祝いの行事であり、家が栄え、自分も落ち着きを加えしみじみと御神恩に感謝申し上げます。

御家族揃ってお年寄りに感謝しお祝いをして労う事も大切な事です。

上寿祝	明治42年生（100歳）	数え年100歳のお祝い。
白寿祝	明治43年生（99歳）	百から上の一を取ると白になり、数で云えば99である。
卒寿祝	大正8年生（90歳）	卒は略字で卒と書き九十と読む。
米寿祝	大正10年生（88歳）	米は字をわけると八十八となる。
傘寿祝	昭和4年生（80歳）	傘は略字で傘と書き八十と読む。
喜寿祝	昭和7年生（77歳）	喜は草書で喜と書き七十七と読む。
古稀祝	昭和14年生（70歳）	「人生七十古来稀なり」の漢詩にもとづく。
還暦祝	昭和23年生（61歳）	干支が丁度一巡し、誕生の年と同じになるので本卦返りともいう。

(厄年)

厄年は、人生の転換期にあたり災いの多い年と言われています。

特に、男子42歳・女子33歳は大厄の年とされ、前後の年を含め前厄・本厄・後厄の3年間身を慎み、氏神様の御加護を願う年とされており。

御神前に静かに願ひ、感謝と反省と今後の発展を祈り願う事に大きな意義があります。

厄を祓い清め、氏神様の強いお導きを頂き、大厄を大躍（厄）進、飛躍（厄）の年として下さい。

平成19年度厄年の早見表は下記の通りです。

性別	年齢	前 厄	本 厄	後 厄
男	25歳	昭和60年生（24歳）	昭和59年生（25歳）	昭和58年生（26歳）
	42歳	昭和43年生（41歳）	昭和42年生（42歳）	昭和41年生（43歳）
	61歳	昭和24年生（60歳）	昭和23年生（61歳）	昭和22年生（62歳）
女	19歳	平成3年生（18歳）	平成2年生（19歳）	昭和64・平成元年生（20歳）
	33歳	昭和52年生（32歳）	昭和51年生（33歳）	昭和50年生（34歳）
	37歳	昭和48年生（36歳）	昭和47年生（37歳）	昭和46年生（38歳）

(七五三祝)

七五三の参拝は、子供の成長を喜び、又、氏神様にご報告申し上げ感謝の誠を捧げまして、更なる御加護を仰ぐものであります。子供の成長の段階毎に氏神様に祈る事は、子を持つ親の心情でもあります。

この美しい風習に思いを馳せ、御家族共々七五三のお祝いを迎えるお子様を心より祝福申し上げ、お揃いにて御参拝下さい。

髪置祝	平成18年生の男女（3歳）	髪を伸ばし整え始めること。
袴着祝	平成16年生の男子（5歳）	男の子が初めて袴をはき始める年齢。
帯解祝	平成14年生の女子（7歳）	女の子が今までの紐付着物から帯を締める大人の着物に替える年齢。

編集・発行

彦島八幡宮社務所

下関市彦島迫町五丁目十二番九号

TEL 〇八三二一六六〇七〇〇

FAX 〇八三二一六六一五九一一

ホームページ <http://www.hikoshina-gunet>

平成二十年一月十五日

印刷・株式会社ハラボリ印刷

一、神社のお札、お守等は守札納所へ納めて下さい。

一、ビニール袋から出して、ビニールは必ずお持ち帰り下さい。

一、正月飾りのみかん、ダイダイは取り外してご持参下さい。

一、正月の鏡餅は持参しないで下さい。

一、神社とは関係ない物の持ち込みはお断り致します。

例 結納品、人形、仏壇仏具

一、神社からお頒けしたもので、外のものを持たされる場合は、必ず社務所までお知らせ下さい。（正月飾り、お札お守り類を除く）

古札類又正月飾等
当宮へ持参される方へ
お願ひ



八幡宮からのお願い